

毎年、広島市で行われる平和記念式典に「平和の作文」入賞者の代表のみなさんを派遣し、感想を紹介しています。今年度は、新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐために派遣を中止したことから、令和二年度「平和の作文」最優秀作品を紹介します。

「満たされる心」とは

幸手中学校 三年 宮崎 美花

戦争。現代の日本では、あまりなじみのない言葉だ。しかし、一度世界に目を向けると、この言葉が当たり前の地域が、未だに多くあるのが現実だ。他国同士の紛争、民族間での争い。当然死者が出るその諍いに、戦いを制した勝者に、一体何が残るといえるのだろうか。

十九世紀末、日本は他国との戦争で勝利し、いくつかの条約を結んだ。しかし、それは敗者の国を支配し、弱体化させていくものばかりであった。当時、国同士が押し潰し合わなければ、求めるものは得られないという認識だった。そして、支配した国の上に立ち、自分たちが何を失ったのか気付かぬまま、また次の戦いへと歩みを進めるのだ。私は、この当時の状況、そして現在、世界のどこかで戦争が起きている状況は、心が「渴いている」が故に起きたのだと思う。「乾いた心」はヒビの入ったコップと同じだ。水を注いだ途端に無くなってしまう。満たされるまで求めていく。そんな心が、欲や焦りを生み出し、戦争を激しくしていくのだろうか。戦争やささいな諍いというのは、勝ってもなお、負けてもなお、渴くばかりである。

戦場の様子を考えたことはあるだろうか。死にゆく恐怖を押し殺し、故郷への未練に蓋をして、ただ人を殺める兵士の気持ちを考えたことはあるだろうか。瀕死の仲間を踏み越えて走る辛さを、次々と人が倒れていく悲しみを、考えたことはあるだろうか。兵士一人一人にだって愛する家族がいるというのに、会えないまま亡くなっていく兵士を思うと、胸が張り裂けそうになる。「渴いた心」

は最後には絶望を生み出す。もう二度と「渴いた心」をつくり出さないために、私たちは決して戦争をしてはならないのだ。

「渴いた心」は戦争中だけでなく、現代でも多くの人の心に潜んでいる。全ての人に平和が訪れるように、今、私たちができること。それは「満たされる心」を持つことだ。一つの出来事に幸せを感じ、その幸せを他と共に分かち合い満足する、それこそが「満たされる心」の第一歩なのではないだろうか。

私の家族は私に深い愛情を注ぎ、大切に育ててくれた。私の仲間はいつもいつでも寄り添い、支えてくれた。「満たされる心」が与える幸せを全てで感じる事ができた。やがて大人になり子供を育てるとき、心が満たされていけば、その子は満たされる心の幸せを知る子供になる。私たちにできることは満たされる心で歴史を伝えていくことだ。今をつくる人々に、そして未来をつくる子供たちに、私はその心を持って伝えていく。

戦争は深い悲しみと絶望を残す。だからこそ私は今ある平和に感謝し、いつまでも「満たされる心」であるよう、心がけていきたい。そして戦争がもたらす被害を忘れずに未来へつなげ、まだ「渴いた心」である人と「満たされる心」の幸せを分かち合いたい。

INTERVIEW



「コロナ禍の学校休業で、家族と過ごす時間が多くあったので、満たされています！」と笑顔の宮崎さん。

どんな想いで作文を書いたのか

平和の対義語が戦争ということから、国際社会の状況や歴史の授業で学んだこと、本を読んだり映画を見て感じたことを参考に書きました。

心の表現「渴(乾)き」について

ヒビの入ったコップに例えたのは、心の何かが欠けている、大切なものが漏れてしまうというイメージがあったからです。

満たされる心を分かち合うために

私自身中学生で接する範囲が限定的ですが、手助けだったり、人に笑顔になってもらえるような行動をとりたいです。そして、おうち時間が増えた分、家族とのコミュニケーションを大切にしていきたいです。

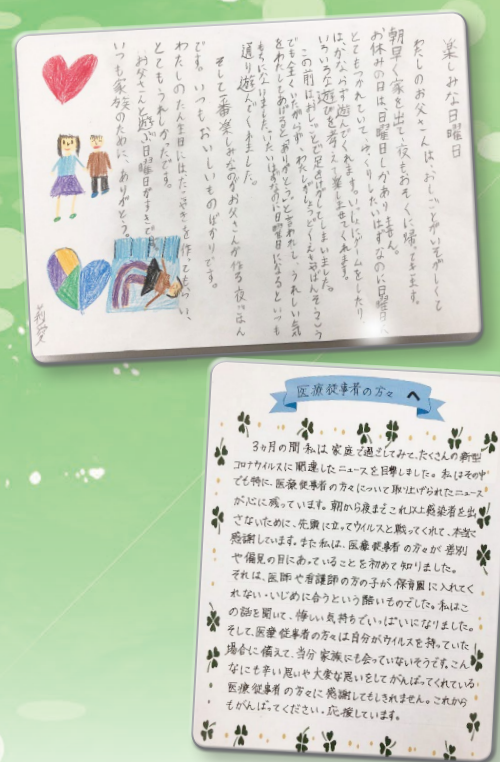
心あたたまる
ありがとうがいっぱい

幸手市教育委員会では、市内の児童生徒たちがコロナ禍の生活の中で感じた、家族・自然・友達・社会などに対する『ありがとう』という感謝の気持ちを表現する作文を募集しました。

応募総数308点の中から最優秀賞を31点、優秀賞64点、やさしさ賞4点を決定しました。

絵や色遣い、切り絵などの創意工夫がほどこされた全ての作品に、児童生徒たちの感謝の気持ちたちが込められ、作文という枠を越えたものとなりました。

審査に当たった山西実教育長は、「コロナ禍だからこそ、人や自然の関わりの中から生きる喜びを感じ取れる作品が多かった。」と話すとともに、幸手市道徳教育推進協議会委員長の常見昌弘玉川大学客員教授は「子どもたちの豊かな感性がほとばしる作品が多く、感激した。」と語っていました。



心あたたまる作品をハム民館に展示

展示期間 9月3日(木)から9月29日(火)まで

中央公民館／幸手小・さくら小

東公民館／吉田小・東中

西公民館／行幸小・長倉小

南公民館／西中

北公民館／権現堂川小・幸手中

ぜひ、各公民館に足を運んでいただき、児童生徒たちの心あたたまる作品をご覧ください。



※密を避けるため、時間帯、ソーシャルディスタンスなどに十分留意して作品をご覧ください。

問合せ 指導課 ☎(43)11111 内線632